

《あらすじ》

能 梅枝

甲斐国身延山の僧(ワキ・ワキツレ)が諸国行脚の途中、摂津国住吉で村雨に遭い、近くの庵に泊めて貰う。庵の中に太鼓と舞の衣装が飾ってあるのを不審に思い、庵の主の女(前シテ)に訊ねる。すると女は、天王寺の楽人・浅間と宮中の雅楽の役を争い、討たれてしまった住吉の楽人・富士の妻と、富士の形見の太鼓の哀れな物語を語る。そして自分が富士の妻であると仄めかし、執心の苦しみを述べ消え失せる。(中人)

僧が法華経を誦し回向をしていると、富士の妻の霊(後シテ)が夫の形見の衣装を身に

着けて現れる。妻の霊は昔を語り様々な舞を舞い、明け方の薄明かりの内に姿を消すのだった。

能 狂言 樋の酒

用事で外出することになった主人は、酒飲み太郎冠者に米蔵、下戸の次郎冠者に酒蔵の番を言いつける。そのうちに実は酒好きで次郎冠者が酒を飲み始め、それを知って羨ましが太郎冠者は自分にも飲ませると言う。酒を米蔵の太郎冠者の口にいれるため、酒蔵にいる次郎冠者は珍妙な方法を思いつき、二人は酒盛りを始める。やがて主人が戻ってくる...

能 野守

出羽国羽黒山の山伏(ワキ)は、大峯葛城に参ろうと旅に出た。大和国春日の里に着いたところ、一人の老翁(前シテ)がやって来る。山伏が野中にある清水の名を訊ねると、老翁は、私のような野守が影を映すゆえ、野守の鏡と呼んでいると答える。さらに老翁は、鬼神が持つという真の野守の鏡や、昔に行われた御狩の話や、うと老翁は、この水鏡の方を見なさいと言いつつ消え失せる。(中人)

山伏が懸命に祈っていると、鬼神(後シテ)が真の野守の鏡を持って現れる。鬼神はあらゆる世界の様相を鏡に映した後、大地を踏み破り、奈落の底へ飛び入り消え失せる。

〔注意事項〕

- ・入場券のお申込みは、観世九阜会事務所ならびに当会能楽師が承ります。
- ・当日券は、残席ある場合のみ当日正午より会場受付にて発売いたします。完売の際はご了承ください。
- ・お求め頂いたチケットの払戻しおよび指定席のお取替えはできません。
- ・未就学児の入場は原則的にお断りさせていただきます。
- ・本番組記載の演目・演者等はやむを得ない都合により変更になる場合がございます。
- ・許可のない録音、撮影は一切禁止です。携帯電話は電源からお切りください。演能やほかのお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。場合によっては退場していただく事もございますので御了承ください。
- ・地震等の影響により急遽変更になる場合がございます。情報は随時ホームページをご覧ください。

入場券料(全席指定)

正面指定席	7,700円(税込)
脇正面・中正面指定席	6,600円(税込)
学生券指定席(脇正面中正面)	4,400円(税込)

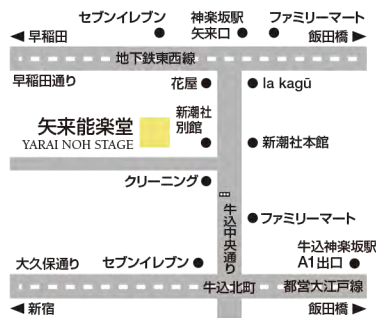
(26歳未満・要学生証。未就学児童入場不可)

一般発売日5月10日(日)

- ・一回券は、前月の定例会当日に矢来能楽堂受付にて発売いたします。(お電話でのご予約は11日(月)から承ります)
- ・半期券と当会会員先行予約のため、一般発売席がわずかとなる場合がございます。何卒ご了承ください。

お問い合わせ・お申し込み

観世九阜会 162-0805 東京都新宿区矢来町60番地
TEL 03-3268-7311 FAX 03-5261-2980 yarai@eos.ocn.ne.jp
主催：公益社団法人 観世九阜会



地下鉄東西線神楽坂駅下車 矢来口より徒歩2分
都営大江戸線牛込神楽坂駅A1出口より徒歩5分
駐車場はございません。近隣のコイン駐車場をご利用ください。

能・狂言
Noh Kyogen
観世九阜会
かんせきゅうこうかい
矢来能楽堂
162-0805 東京都新宿区矢来町60

<http://www.yarai-nohgakudo.com>

表紙写真「小徳見」撮影 栗原宏文



能・狂言 観世九阜会

かんせきゅうこうかい

令和2年6月14日(日) 午後1時始(正午開場)

於 矢来能楽堂

Noh Kyogen

KANZE KYUKOKHAI

14 June, 2020 (sun) Yurai Noh Stage

13:00 start (12:00 open) English program available

六月 定例会



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

令和二年六月十四日(日)午後一時始 於矢来能楽堂

番組

シテ 奥川 恒治

能 梅枝

Unegae

ワキ 森 常好

大鼓 原岡 一之
小鼓 幸 信吾

笛 八反田智子

ワキツレ 則久 英志

ワキツレ 梅村 昌功

問 河野 佑紀

後見 遠藤 喜久
長山禮三郎

地謡 高橋 康子
中森健之介 觀世 喜正
永島 充 弘田 裕一
鈴木 啓吾 中森 貫太

休憩十五分

(午後二時四十五分頃)

狂言 樋の酒

Himosake

シテ 野村 万蔵

アド 能村 晶人
小アド 野村万之丞

後見 野村拳之介

小 督

キリ

觀世 喜之

仕舞 水無月祓

遠藤 喜久

大江山

鈴木 啓吾

地謡

金子仁智翔
觀世 喜正
永島 忠修
永島 充

休憩十分

(午後三時三十分頃)

能 野守

Nomori

シテ 佐久間二郎

ワキ 館田 善博

大鼓 柿原 光博
小鼓 鳥山 直也
太鼓 大川 典良
笛 熊本俊太郎

問 野村拳之介

後見 遠藤 和久
駒瀬 直也

地謡 石井 寛人
奥川 恒成 中森健之介
河井 美紀 小島 英明
新井麻衣子 坂 真太郎

附祝言

(終演 午後四時五十分頃)

次回予定番組

令和二年七月十二日(日)

午後一時始
於 矢来能楽堂

能 千手

長山 耕三

能 大會

駒瀬 直也

能楽書林

権藤芳一著

『能楽手帖』



簡潔な解説で携帯にも便利な能楽鑑賞事典。見開き一曲で、上演頻度の高い一三〇曲を厳選して収録。曲ごとに、あらすじ・みどころ・作者・素材・各流の小書きなどが書かれ、観能の手引きに最良の書。巻末に用語解説も付す。
新書判・三〇二頁
本体一四〇〇円＋税

柳沢新治著

『横からみた能・狂言』

長年、NHKの能楽放送に携わった著者が著した、現場ならではの「放送うらばなし」をはじめ、能の歴史をひもとく「能の歴史」、心に残る人々との思い出の随想「出会いと別れ」、能をモチーフとした推理小説「能舞台の目撃者」など、バラエティに富んだ内容を一冊にまとめた好読物。
四六判・二二三頁
本体二〇〇〇円＋税

ご注文・問合せ

(株)能楽書林 九段下駅徒歩すぐ

☎ 03-32664-0846

FAX 03-3264-0847

メール shorin@mercury.plala.or.jp